

評価対象事業		評価者	公的不動産活用課担当課長 田邊 幹浩	
総務-16	庁舎管理事務	☒ 自治事務	主管課	公的不動産活用課
		☐ 法定受託事務	関連課	
総合計画上の位置付け	分野	0-(2) 行財政運営	施策の方針	0-(2) 行財政運営

1 事業の目的

対象	市庁舎
意図	市庁舎の維持保全を図るため。
効果	設備関係の改修を重点的に行い、市庁舎の機能改善を図る。

2 令和6年(2024年)度を実施した事業の概要

・吸収冷温水機分解整備等修繕	・発着信履歴管理システム更改修繕
・深沢倉庫屋根修繕	・本庁舎1階天井内給水管更新修繕
・加圧ユニットポンプ整備修繕	・本庁舎地下1階給水管更新修繕
・コールセンターの導入	

3 事業を構成する事務事業(最小事業)実績

枝番号	事務事業	実施した主な事業 (主な経費等)	指標(単位)	令和6年度		令和7年度	達成度
				指標(実績値/目標値)		指標(目標値)	
				事業費(決算/当初)(千円)		予算額(千円)	
01	庁舎管理事業	光熱水費、総合管理業務委託、警備業務委託等	-	- / -	-	-	-
				151,392 / 168,354		198,856	-
02	庁舎維持修繕事業	維持修繕	-	- / -	-	-	-
				51,971 / 55,185		57,719	-
03	電話交換業務	電話交換業務委託	-	- / -	-	-	-
				18,723 / 18,993		18,993	-
04	鎌倉水道営業所賃借事務	賃借料、維持管理負担金	-	- / -	-	-	-
				1,552 / 1,889		1,834	-
05	外部会議室賃借事務	会議室使用料	-	- / -	-	-	-
				1,878 / 1,828		5,375	-
06	コールセンター運營業務	コールセンター運營業務	-	- / -	-	-	-
				4,312 / 0		39,160	-
07				/			
08				/			
09				/			
10				/			
		財源内訳	国県支出金	/			
			地方債	/			
			その他特定財源	28,718 / 27,202		29,220	
			一般財源	201,110 / 219,047		253,557	
		事業費の合計(千円)		229,828 / 246,249		282,777	
		人件費(千円)			26,842	27,017	

4 この事業に関わる職員数(毎年度4月1日時点)

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
正規職員等	3.2	2.4	3.0	3.6	3.1	3.1
会計年度任用職員	0.0	0.0	0.0	0.8	1.5	0.4

5 評価結果

(1) 最小事業評価

枝番号	事務事業	指標分析の推移、目標未達の理由	上位施策にどう寄与したか、構成する事業としての妥当性	事業実施上の課題、改善点
01	庁舎管理事業	指標設定に馴染まないため。	庁舎内スペースを有効利用して不足する執務室を補完し、市業務が滞りなく執行できる体制を整えた。	引き続き庁舎内のスペースの有効活用方法を模索し市業務が滞りなく執行できる体制を整える。
02	庁舎維持修繕事業	指標設定に馴染まないため。	庁舎移転までの期間を考慮した修繕を実施	庁舎の老朽化が進行しており、天井からの雨漏り、配管からの水漏れ、電気設備の劣化等が発生しているため、維持修繕のなかで優先順位をつけて対応していく。
03	電話交換業務	指標設定に馴染まないため。	現在の設備において必要な電話交換業務を確実に遂行し、市業務の円滑な実施に寄与した。	職員の業務効率化に向けたワンストップ型コールセンターの導入を市民課、環境センターで実施した。
04	鎌倉水道営業所賃借事務	指標設定に馴染まないため。	不足する会議室を補完し、市業務が滞りなく執行できる体制を整えた。	水道営業所の一部を会議室として賃貸借契約し、不足する会議室を確保した。令和6年4月から令和7年1月までは2階、令和7年3月から1階のそれぞれ一部を借用した。
05	外部会議室賃借事務	指標設定に馴染まないため。	不足する会議室を補完し、市業務が滞りなく執行できる体制を整えた。	キャンセルなどで無駄な支出が発生しないよう、予約状況などを管理した。
06	コールセンター運營業務	-	電話問合せ業務の外部委託化により、市民サービスの向上及び職員の業務効率化に寄与した。(市民課、環境クリーンセンター)	コールセンターでの一次完結率を上げるため、各課等でのFAQの整備や更新作業が必要である。令和7年度から対象課を10課に増やしていく。
07	0			
08	0			
09	0			
10	0			

(2) 視点別評価

効率性	事業費の削減余地はないか	1 事業費の削減余地はない
	事業の外部化(民営化・業務委託等)はできないか	1 実施済み
	関連・類似する事業の統合はできないか	1 統合済み
妥当性	各事業の実施に対する市民ニーズはあるか	1 市民ニーズは変わらずにある
	民間によるサービスで代替できる事業はないか	3 民間によるサービスで代替できる事業はない
有効性	事業の上位施策に向けた貢献度はどうか	3 上位施策の貢献度を計ることはなじまない
公平性	受益者負担は公正・公平か	△-負担未導入
協働	市民等と協働して事業を展開しているか	△-3 受益者が特定できないため、受益者負担を求めることができない
		△-2 市民等と協働して実施する事業はない
		協働実施済の場合のパートナー

(3) 総合評価 ※最小事業評価を踏まえて、今年度以降の取組方針等を記載する

【今後の方針】	☐ 拡充	☐ 改善・変更	☒ 現状維持	☐ 縮小	☐ 休止・廃止
庁舎移転までの現本庁舎の設備改修や修繕については、効率的な予算執行が求められることから、事業内容や予算規模は現状維持とする。					

【参考】

◎事業実施に係る主な指標

指標(単位)							単位	
指標設定理由		年次	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
	目標値							
	実績値							
	達成率							

指標(単位)							単位	
指標設定理由		年次	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
	目標値							
	実績値							
	達成率							

◎他市比較・ベンチマーク(県内外自治体など他自治体や民間団体との比較値)

比較事項							
団体名	鎌倉市						
他市実績							

当該事業実施に伴う 他市比較に関する考え方	
--------------------------	--